



著：串間市民病院 外科
北村 英嗣 Eiji Kitamura

Health Knowledge

健康マメちぎ

鼠径ヘルニアと胆石について

今回も前回同様、当院外科で多くみられる鼠径ヘルニア、胆石症についてお話しさせていただきます。当院に赴任してから私が感じたことについて述べさせていただきます。

①鼠径ヘルニアについて

鼠径部とは足の付け根の領域を指し、ヘルニアとは「脱出・突出」を意味します。つまり鼠径ヘルニアとは、鼠径部から腸管などの内容物が外へ脱出する疾患で、いわゆる「脱腸」として一般的に認識されています。多くは幼児や高齢者に発症しますが、高齢の患者さんでは加齢に伴い、お腹の組織が脆弱化することが原因として考えられます。症状は、鼠径部の膨隆（ふくらむこと）や痛みが挙げられますが、最も注意しなければならぬのは嵌頓（かんどん）という病態です。嵌頓とは、脱出した腸管が元に戻らなくなることで、この状態が続くとやがて血流不良を起こし、腸管は壊死（腐ること）します。嵌頓状態に対応が遅れると、命に関わることもあります。用手的に整復（せいふく）（元に戻すこと）できることもありますが、緊急で腸管切除術が必要になることもあります。嵌頓予防目的の治療としては、手術が挙げられます。手術では、脱出しているヘルニア嚢（なんそう）という袋をお腹の中に戻し、

九州初！串間エコツーリズム推進全体構想が国に認定されました



認定書授与式



野生馬ガイドツアー

串間市は、エコツーリズム推進法に基づき、郷土の豊かな自然や生活文化を守りながら活用し、次世代へ伝えるエコツーリズムを推進していますが、このたび、その推進法に基づいて策定された『串間エコツーリズム推進全体構想』が、国の認定を受ける運びとなり、串間市長が環境省での認定書授与式に出席しました。全体構想には、串間市がエコツーリズムを推進する目的や方針、保護活用しうる自然観光資源の現状と、活用する

にあたり配慮すべきルールなどが定められ、これが国の推進法の趣旨に合致する内容であるとして認められたものです。今回の認定は全国で9番目、九州では鹿児島県奄美群島とともに初の認定となり、その他の地域では、世界遺産の小笠原諸島なども平成27年に認定されています。串間市長には、エコツーリズム推進に係る主務4省（環境省・農水省・国交省・文科省）の大臣連名による認定書が授与されました。

●問い合わせ先＝商工観光スポーツランド推進課 ☎内線269



西村徳文さん・坂口佳穂さんが「くしまPR大使」に就任

串間市にゆかりのある方に、それぞれの活動を通して本市をPRしていただく「くしまPR大使」として、プロ野球オリックスのヘッドコーチ西村徳文さん、ビーチバレー選手の坂口佳穂さんにご就任いただきました。



オリックス・バファローズ
ヘッドコーチ
にしむら のりふみ
西村 徳文さん

福島高校卒業後、社会人を経て82年にロッテ入団。盗塁王や首位打者を獲得するなど活躍。97年に引退し、98年から12年間コーチを務める。10年には監督に就任し、日本一に輝いた。16年からはオリックスのヘッドコーチとして活躍中。



ビーチバレー選手
さかぐち かほ
坂口 佳穂さん

串間市出身。小学1年生から中学卒業までバレーボールを経験。高校ではバレーから離れるが13年にビーチバレー大会を観戦し、魅力にはまる。14年から本格的にビーチバレーを始め、現在は東京オリンピックを目指し奮闘中。

●問い合わせ先＝総務課秘書広報係 ☎内線315

脆（もろ）弱（じやく）化した腹壁を補強します。ひと昔前の手術では、患者さん自身の腹壁の組織を寄せることで補強していましたが、最近ではメッシュなどの人工物を挿入し、補強する手術が一般的です。当院でも人工物による腹壁補強を行っています。また、最近では腹腔鏡によるヘルニア修復術も盛んに行われています。術後の入院期間の短縮や社会復帰が早いというメリットがあります。当院では腹腔鏡での修復術は行っていませんので、患者さんの希望があれば、腹腔鏡手術を行っている病院へ紹介させていただいております。その他、ヘルニアの原因の一つとして腹圧の上昇が挙げられます。普段から重い荷物を運ぶ機会が多い人や、便秘症で息むことが多い人は腹圧が上昇しやすく、ヘルニアの予備群になると思われます。腹圧を長時間かけないことや、便秘にならないように気を付けることが、ヘルニアの予防につながると思います。高齢化が進むにつれて、今後鼠径ヘルニアの患者さんが増加する考えられます。重症化することもありますので、足の付け根の膨隆や痛みがあるという患者さんは、一度受診してください。

②胆石症について

胆石症とは、胆のうという袋（肝臓の下に付着している臓器）に石が貯まった病態です。本来胆のうは、肝臓で作られ

た胆汁という酵素（脂肪の消化吸収に関わる酵素）を一時的に蓄え、濃縮し、必要に応じて分泌する働きがあります。胆石症の患者さんでは、胆石発作という右側の季肋部（肋骨の下）に痛みが出る人いれば、症状が全く出ない人もいます。脂肪分を多く含む食事を摂取した時は、胆のうの働きが活発になるので、発作が起こりやすくなります。胆石が胆のうの出口を塞いだり、胆汁の流れが悪くなった場合は、急性胆のう炎という状態になります。緊急の処置や手術が必要になることがあります。外科的治療としては、胆のうを摘出する手術が挙げられ、腹腔鏡で行つことがほとんどです。検診などで胆石を指摘された方や、脂肪分の多い食事を摂取した時に右のお腹が痛む方は、一度受診してください。

③最後に

当院に赴任してから特に感じたことは、串間市のがん検診の受診率の低さです。定期健診や特定検診をしっかり受けることで、生活習慣病や悪性疾患の早期発見・治療につながりますので、必ず受けていただきたいと思います。最後になりましたが、当科では月曜日～金曜日の午前中に外来を行っています（第2水曜日は乳腺外来も行っていきます）。鼠径ヘルニアや胆石症以外にも、気になることがございましたらお気軽にご相談ください。